

第 129 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 28 年 2 月 16 日（火） 14：00～15：50

場 所：浜田公民館第 2 研修室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 横田次長（教育総務課長） 佐々木課長 滝本室長

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 小田室長（欠席）

大崎分室長 栗栖分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：日ノ原主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 浜田市立公民館条例施行規則の改正について

3 部長・次長・課長等報告事項

4 その他

(1) 閉校式について

1 教育長報告

石本教育長

1 月の下旬に大寒波の到来で水道管の破裂等があり、学校給食の提供が出来ないという時期があった。大変心配をしていたが、何とか対応できた。今後、こういった事が起きた時にどうするかという事を、教育委員会だけではなく、浜田市全体で今回の事を教訓に生かそうという反省の会議を計画している。今後の対応等がまとまり次第、お知らせしたい。

今年はなかなか流行しないなと思っていたインフルエンザが流行し始めた。国府小学校が 2 月に入り、4、5 日頃、創作ダンス発表会以降に学級閉鎖が 3 年 1 組、2 組という事が出た。そして、旭の方でも流行し、今市小学校と旭中学校が学年閉鎖をしている。今市小学校は 6 年生、旭中学校は 2 年生が今週いっぱい学年閉鎖をしている。大きく広がっていくのではないかと思う。テレビでは、うがいは予防の効果がないという話が出ていたが、うがい、手洗いの励行を学校では指導している。引き続き、うがい、手洗いをして予防をしていきたい。

① 1 月 30 日（土）第 1 回石本正日本画大賞展オープニングセレモニー（石正美術館）

石正美術館が出来て以降、館長は石本先生の名前を付けた美術展を開催したいと思っておられたが、石本先生が自分の名前を使うのは勘弁してほしいという話をされていたので、平成23年から4年間は全国の美術大学の学生が日本画を描いたものの展覧会を石正美術館でやっておられた。大きなタイトルとしては、碧い海の芸術祭という芸術祭をする中の1つとして、全国の美術大学の学生の日本画展があったが、平成27年の春に館長が名前を使っても良いかという相談を、石本先生にされたら、今までは断られていたが、今回は使っても良いというお許しが出たという事で、今年、石本正という名前を付けた日本画展、美術展が開催された。しかし、この展覧会の開会を待たずに先生は亡くなられた。石正美術館は今後、この石本正展覧会を続けていきたいという事である。どんどん大きな展覧会になっていけば良いと思う。このオープニングセレモニーが1月30日にあり、3月13日まで開催している。様々な美術大学の学生、美術大学を卒業された方の作品、52作品が展示されているので、ご覧いただきたい。石正美術館の新館で行われている。旧館では、石本先生の遺作展を行っている。1年間、色々な形で展示替えをしながら続けるという事になっている。

② 2月3日(水) 第43回浜田市創作ダンス発表会(石央文化ホール)

非常に伝統のある大発表会である。今までは高校生から幼稚園まで出ていたが、近年は中学生が出るのは難しいという事であった。今年は高校も中学校も出られず、幼稚園が1園と小学校が9校という事で、人数的には450人位の園児、児童が参加した。1時間半余りの発表会だが、幼稚園の園児が出る時は保護者の方が大変たくさんおられ、賑やかに行われた。その時に、原井小学校が島根県女子師範学校の附属小学校だった時代に、津田萬夫という校長先生がおられたようであるが、津田萬夫という校長先生は、体育の先生であり、当時リズム運動という形で音楽に合わせて自由に体を動かすといったような学習を始められたという事を話した。元々、外国では行われていたが、日本でも始められたという事であった。浜田市を中心にそういった学習が県内にも広まっていったという事である。リズム運動を行うと、優しい心、美しさを感じる力が育つのだという事が本に書いてあった。先生はそういった取組をずっとやっておら

れたという事であった。戦後になり、これが創作ダンスに発展をしていった、創作ダンスの発祥の地は浜田市ではないかという事が、現在作成中のふるさとの50人の浜田市の人物読本の中にも書いてある。そういった方が、浜田におられたのだという事である。教育学者として活動をしておられて、一時期、師範学校の校長先生としておられたのだと思うが、そういった方が浜田市におられたという事を私も今回初めて知った。その事を子ども達に開会式の時に話をした。発表会に中学生の参加がなくなっているが、昔の様に、中学生も高校生も出てほしいという話が出ていた。

③ 2月4日(木)平成27年度島根県学力調査結果説明会(浜田教育センター)

各小中学校の研究主任の先生方が主に出られた会議であるが、県教委から簡単に総括をしておられた。

今回、4月の全国調査後、取組を行い改善が見られた事項を挙げられた。1点目は小学校の算数で、小数点の引き算が全国調査の時は結果が悪かった。その後の学習によって、今回の県の調査では、正答率が60%台から80%台に上がっていたという事で、定着が図られているのではないか。2点目は数学が好きだという児童の割合も全国調査の時は57.7%であったが、61.7%という事で4%位ではあるが、算数が好きな児童が増えているという事であった。3点目は算数で公式などの訳を理解する学習をしているかという事に対しても、以前より理解するような学習をしているといった割合が増えているという事であった。4点目は授業のめあてや振り返りの学習について、ノートにきちんと学習の目標やまとめを書いているかという事に対しても、6%位実際に行っている児童の率が高いという事であった。以上の4点が、春から比べて成果、改善が見られた部分である。

引き続き、改善が必要な事項も3点あった。1点目は小学校の算数の問題で、180度以上の角の大きさを求める事が定着をしていないという問題があるという事である。2点目は一定の条件のもとで、自分の考えなどをまとめて書く、目的や意図に応じて説明をする、書く事の力が付いていないという指摘があった。3点目は家庭での学習時間が少なく、全国平均を下回っているという指摘があった。

以上、改善があった4点、引き続き改善が必要な3点について話をさせていただいた。

④ 2月6日（土）浜田市PTA連合会発足10周年役員交流会（ジョイプラザ）

10年前からの役員方が集まり、結成当時の話や今までの活動について話をされていた。交流会という事で、懇親会なので、テーマを決めての話ではなかった。今までの話をされて懐かしんでおられたという事であった。現在の会長、前会長等4人位来ておられ、全体では60人くらいの会であったが、盛大な会になった。

⑤ 2月9日（火）浜田市PTA連合会との意見交換会（浜田公民館）

今年2回目の開催であった。教育委員会から情報提供をした後、意見交換をさせていただいた。具体的なテーマは、いじめの問題、放課後、土日の過ごし方について、また学校の施設の修繕の関係も心配しておられる役員の方もおられた。PTAでも学校修繕のお手伝いをして直すが、なかなかお願いをした所を直してもらえないという学校の不満も聞いているという話もあった。平成27年度で言うと、1億4000万円位の修繕費をつぎ込んで、対応はしているが、なかなか根本的な改修が出来ないという状況である。特に、雨漏りに関しては、どこから雨漏りをしているのか原因が分からないという学校も何校もあり、毎年修繕はするが根本的な対策となっていないという事もある。屋根全体を何千万円掛けて葺き替えると止まるかもしれないが、現実としてそこまでの所が出来ていない。

⑥ 2月14日（日）平成27年度優れた「地域による学校支援活動」にかかる文部科学大臣表彰報告会（石見公民館）

一中校区の学校支援地域本部がこの賞をもらったという事である。一中校区は、第一中学校、松原小学校、石見小学校、三階小学校という事で4つの学校がある。その中には、学校支援のコーディネーターとして、公民館職員の2名、公民館職員以外として3名おられ、5名のコーディネーターが連携をしながら活動を行っている。平成20年から取組を始められた。最初は、放課後遊び隊という活動からスタートをして、地域と学校をつないでいったという話をされた。特色ある活動も行っておられ、そういった実績が評価をされた。

昨年度は、浜田東中校区が同じ様に賞を受賞している。2年

連続で浜田市が受賞したという事は嬉しい事であり、学校支援地域本部事業が、取組を頑張っておられるという事である。

今回、県内では浜田市と益田市の2団体の受賞があった。全国では136団体が表彰を受けたという事である。

⑦ 2月16日(火)第3回浜田市教育振興計画審議会(浜田公民館)

浜田市教育振興計画審議会からの答申(教育長室)

本日、午前中に行われた。来年度からの6年間の教育振興計画を審議会の答申という形でいただいた。これについては、多少修正の箇所が出たので、その辺の修正も含めて19日の教育委員会臨時会の中で、教育委員方に審議をいただき、最終的に決まったものを3月議会に提出をしたいと思っている。

今日持って帰っていただく事になっているので、目を通していただきたい。

質疑応答

金本委員

今日の新聞に、算数、数学が教育事務所管内で1校指定校を決めるという取組について出ていた。

石本教育長

3月議会を通らないと、表には出てこないはずではあるが、準備はしている。浜田市内の学校でも是非手を挙げてもらおうと思っている。学校から手が挙げれば良いが、教育委員会としても頑張ってもらいたい学校もあるので、その学校にお願いをする事になるかもしれないが、浜田市としても手を挙げたいと思っている。具体的な要項はまだ詳しく読んでいないので、どれ位の支援があり、講師の先生を呼んだ時の経費が出るのかも分からないが。

滝本室長

推進校という形で、1つの学校が指定され、そこに算数のリーダー教員を指名して、その教員は年に8回位公開授業を行う。県外への視察、他校への研修等を県費として出すという事、また、加配の教員が1名つくという様な事業である。

藤本委員

2月9日にPTA連合会との意見交換会があったという事だが、学力向上について、いつも言われる事が、学校、家庭、地域という事をいつも言われ、現在も中心に言われている。私の家族に中学生がいる。反抗期の時期と言う事ではないが、そういった年頃の子どもがいる家族で、話し合いが出来ないと色々な問題が出て来ると思う。私の家では家族会議を行い、我が家のルールを決めている。それは1つの例であり、そういった事はPTAが主体性を

石本教育長	<p>持って取り組んでもらわないと、教育委員会からお願いをしてもなかなか浸透しないと思う。また、こういった機会があった際には、PTA 独自としての取組を家庭へ呼び掛けてもらえたらと思う。教育委員会が呼び掛けるのではなく、PTA として各家庭へ呼びかけることが大事である。最近、スマホや携帯等のメディアの問題が出ている。それをいかに防ぐのかという事は、家庭でのルールがないと、子どもは自由に使う。そういった事を、またの機会に呼び掛けてもらえたらと感じた。</p> <p>メディアについては、各 PTA も研修を重ねておられ、対応を考えなければならないとなっているが、確かに家庭でどこまで出来ているのかという事になると、意見交換会でもテーマを挙げて話をしようと思う。</p>
各委員	<p>他に質問事項はあるか。</p> <p>質問事項なし。</p>

2 議題

(1) 浜田市立公民館条例施行規則の改正について (資料 1)

山根課長	<p>現在、浜田市立石見公民館細谷分館の新築工事を行っている。まもなく竣工をする予定であるが、旧細谷小学校が建っている所が、現在の分館であるが、前の校庭側に新しく建設している。現在ある所の地番は、竣工した後には解体と造成を行う予定としているが、新しい建物の地番が違って来る。現在は 376 番地に建っているが、2130 番地 1 へ建つので、建物の位置の関係で分館の地番の変更をさせてもらうものである。資料の次のページに新旧表があるが、地番の部分を変更させていただくものである。よろしくお願いしたい。</p>
石本教育長	<p>今回の議題としては、分館が設置されている地番が変わるという規則の改正である。</p> <p>この分館を建てる事を、教育委員会の中で委員方に話をしていたか。</p>
藤本委員	<p>話は聞いていた。地番が変わるのは分かるが、位置的には隣になるのか。</p>
山根課長	<p>多少、間を置き、現在の校庭の部分に建てている。</p>
藤本委員	<p>平地でないと建てられない。</p>
石本教育長	<p>旧細谷小学校の所に建設しているので。校舎があり、校庭がある。校庭の所に建物を建てた。校舎を壊して庭にするという事で</p>

藤本委員	ある。
石本教育長	分かりました。
山根課長	5,000万円か6,000万円位の事業であったと思うが。 6,000万円位である。規模としては長見分館と同じ位の大きさである。少し構造は違い、天井は高くないが。
石本教育長	現在の三階小学校が出来る時に、長見小学校と細谷小学校が統合されてなくなったが、統合条件で分館の建て替えをお願いされていた。長見分館についてはすぐに建て替えをしたが、細谷は学校がなくなった後、山びこ学級で利用していたので、建て替えができなかった。20年経って、建て替えをする事となったのが経過である。
各委員	住所が変わることについては承認いただけるか。 全会一致で承認

3 部長・次長・課長等報告事項

山本部長	<p>① 平成 28 年度教育方針（資料 2） 既に、委員方には審議をいただき、出来上がった。2 月 23 日に議会が開会する。</p> <p>② 平成 28 年 3 月浜田市議会定例会 提出議題（資料 3） 専決処分の報告という事で12月22日に陸上競技場の観覧席階段が地盤沈下で1段目が10cm位広くなっており、そこでつまづき転倒され、顔面損傷、左の小指の骨折をされ、治療費と慰謝料という事で81,000円位掛かるという事になった。市の施設は保険に入っているが、どの施設においても事故があった場合は適用する。</p> <p>③ 平成 28 年度当初予算説明資料（資料 4） これは各課より説明を行う。</p>
横田次長	<p>教育部の予算要求としては、財政課よりシーリングという所で1%、2%カットという事を指示されたが、教育部ではさらに1%カットを加算したもので予算の計画を立てた。その中で予算獲得を目指した。</p> <p>教育総務課については、弥栄小学校体育館改築事業を残し、学校建築等の大きな事業が終了した。国府小学校、旭小学校は完成したことにより、その辺の大きな事業費は減額となっている。</p> <p>特色のあるものや、増減の大きなものについて説明をする。</p>

P224・693 学校統合計画審議会費

平成22年度に策定した学校統合計画は、平成28年4月の旭小学校の開校で完結をする。次期の計画を策定という事で、この度審議会費という事で予算をお願いした。年4回の開催を予定にしている。

P228・709 次世代教育環境整備事業

この度、裁量経費の大幅カットの中で、次世代教育環境整備事業で教育部全体の調整を最大限利用している。7,000万円の予算要求であるが、前年度と比べると、学校関係の修繕、備品購入等を調整している。これについては、各課においても同じ様な形になっている。

P228・711 学校施設エアコン整備事業

昨年に比べて金額は増えている。図書室のエアコンの設置事業という事で取り組んでいる。来年度は、第一中学校と浜田東中学校の設置を予定している。残りは波佐小学校となる。計画的なエアコン設置事業という事で取り組んでいる。

P229・713 学校施設非構造部材耐震化事業

これは、体育館の天井の耐震化を進めるものとなる。該当となる小中学校が6校あるが、その内来年度は原井小学校の調査設計委託を行いたいという事で、本工事は29年度という事になる。27年度に比べると大きく事業費が減額になっているが、設計という事で積算されている。今年度は、浜田東中学校の耐震化の工事を進めている。

P229・715 教員住宅改修事業

教育総務課が所管ではあるが、これは三隅の教員住宅改修事業である。教員住宅の屋根が老朽化が進んでおり、計画的に改修を進める。第1棟を、28年度が初年度で改修を行う。詳しい事があれば、分室から説明があると思う。

P236・739 弥栄小学校体育館改築事業

学校建築事業等大きなものは27年度で終了する。その中で28年度残るものが、この事業である。28年8月に完成予定という事で進めている。

P237・743 中学校管理運営費

前年度の金額等と比べると変わりがないが、新規の所にスカラーモービルリース料というものがある。体の不自由な生徒への階段の昇降の為の機器をリースするという事である。

佐々木課長

P238・745 中学校施設大規模改造事業

前年度の 3,200 万円に対して、事業費自体が 730 万円と減額になっている。27 年度は、金城中学校の屋根の改修、第二中学校のバリアフリー化が事業費の大きな要因となっている。28 年度は第二中学校の体育館の防水工事を予定しているという事である。

昨年度と大きく変わらない事業については説明を省かさせてもらった。

新規事業について。

P300・691 上府コミュニティー防災センター整備事業

上府小学校統合に伴い、地元要望における施設整備という事で 28 年度から動き出す。28 年度に実施設計、用地取得という事になり対応をし、29 年度から建築工事に入る。供用開始が、30 年 4 月という事で、そういう施設の整備事業を 28 年度から取り組んでいく。財源の内訳や、事業内容は議会でも説明をする。この説明シートについて、予算は消防の方に入っている所以教育の中には入っていない。

P226・702 児童生徒安全対策推進事業

予算上変わった事業ではないが、資料の中に※がある部分、スクールガードリーダーの廃止を挙げている。以前は県の補助事業として警察の OB の方等を活用してガードリーダー、いわゆる登下校の安全対策等にご尽力をいただいていたが、4、5 年前に県の補助金がなくなった。その時に他市は止められたが、浜田市については県大生の事件もあった為、浜田市単独でこの事業を継続して進めてきた。現在、子どもの見守り隊等、地域による活動が充実してきたことと、ガードリーダーの方も長年お勤めで退きたいという事もあったので、廃止という形にした。そういった事で若干予算は減っている。

P231・719 児童生徒健全育成事業

これは不登校やいじめ問題に対応する事業であるが、資料にある主な内容として、スクールソーシャルワーカー活用事業費が 1 人増。そして、子どもと親の相談員配置事業も 1 人増である。この事業は、県の委託事業であり、来年度増えるであろうという見込みである。実際に、浜田市が増える様に枠をもらえるかは分からないが、もし増えることになれば、それぞれ 1 人増で対応したいと考えている。子どもと親の相

談員配置事業は、不登校対策事業の一環で始められた事業である。

P236・738 特色ある学校づくり事業

P239 にも中学校分が出て来るが、予算上は中学校分と小学校分が分けてあるので、ここでは小学校分が挙がっている。これは新規という事で、P301の説明資料をご覧いただきたい。これは小学校、中学校対象であり、目的にある様に、学校に裁量権を持たせた予算を配分する事で、各校の自主性、自立性ある特色ある学校づくりを推進するという事である。元々、各小中学校に予算配分をしているが、なかなか学校の裁量を使える形になっていない。来年度からは、校長に裁量を任せて、それぞれの学校独自の取組を進めていただきたいという事である。予算については、学校1校あたり15万円で、学校の児童・生徒の人数割りをして配当をしたいと思っている。具体的な中身として、例えば学力向上を図るために活用をしたり、総合的な学習の取組内容に使うなど、各学校独自で取り組んでいるものや、新たに取り組もうとされるものに学校の裁量として使ってもらえればと思う予算である。

P235・734 小学校教育振興運営費

※印の部分に基金事業の減とある。これは中学校もあるが、浜田自治区以外の旧那賀郡の自治区で基金を活用され、学校独自の事業の補助にお金を出していた。これが今年度までであったので、来年度からはなくなる。先ほどの、特色ある学校づくり事業の予算でこの部分を継承してもらえればと思っている。

P239・751 中学校教科書改訂指導書購入費

これは新規というわけではないが、来年度から中学校の教科書が変わる為、教師の指導書等を購入する費用となる。

P233・727 学力向上総合対策事業

新規となっているが、事業自体は今年度の継続事業である。学力調査等で課題が挙がっている家庭学習の充実、メディア接触時間の縮減、教員の授業力向上といった課題について取り組む事業である。新規となっているのは、主な内容の部分に地域の教育力向上という事で中高一貫教育シンポジウムを開催する予定であるので、これに掛かる費用が新たに加わった。中高一貫教育については、県立高校の再編に関わる浜田

滝本室長

市の要望という事で、昨年度、市内の県立高校の再編については統廃合もやむを得ないという立場と、存続をして各3つの高校の魅力化を図ってほしいという事を浜田市の要望として県へ提出した。特に、浜田高校については、例えば中高一貫教育を取り入れるなどの魅力を図ってほしいという要望を出している。結局、浜田市に県立の中高一貫校を設置してほしいという要望を浜田市として出したい。作るのは県である。地域の教育力が上がり、市外からも人が集まって来るのではないかという考えもある。そういった事で、市民の方に中高一貫教育というものはどういったものかという事を認識して理解を深めるためにシンポジウムを開く。こういった事に必要な経費をシンポジウム経費として新規で挙げている。

P233・728 小中学校一斉学力調査等実施事業

これも新規となっているが、島根県の学力調査については、掛かる費用の半分を市が負担するという事になっている。今年度と同じであるが、プリント配信システムを中学校は県では経費をみてくれないので、浜田市の費用として中学校のプリント配信システムに掛かる費用を負担し、国語、数学、英語の3教科を自由にプリントアウト出来るような事業の費用に充てている。新規となっているのは、今年度までは小学校のプリント配信システムについては、島根県が国語と算数は県が費用を負担して行っていたが、来年度、国語はなくして算数だけになるという事になった。国語がなくなることになるので、国語教育を充実させたい事で、小学校の国語の配信システムについては、市の方で経費を負担して実施をしたいという事で、こういう小学校の問題データベース使用料という事で予算を取って行うという事である。

P241・758 派遣社会教育主事負担金

現在、県の方から社会教育主事を2名ほど派遣してもらっているが、28年度も引き続き2名お願いしている。

P242・760 公民館活動推進事業

新規という部分があるが、中山間地域における課題解決支援事業が、まちづくり振興基金を使っての事業という事で、中山間地域に当てはまらない浜田、長浜公民館以外の24公民館に対して1公民館に上限20万円あたりで課題解決の事業を行ってもらうものである。新規事業説明資料がP302にあるが、

山根課長

こちらで中に含めている、中山間地域における課題解決支援事業や地域団体のまちづくり推進委員会と協働により、まちづくりの支援を行うという事で、それぞれ地域における現代的な課題、最もそれぞれの公民館自体が今までもこういった課題に対して解決取組の事業を進めてきておられるが、特に事業として取り上げて予算化するものである。④の内容について、28年度から31年度まで毎年200万円を予定している。大体、10公民館程度で実施をすると資料にはあるが、調整を行い、多くの公民館で実施してもらおうよう考えている。

P242・761 公民館施設改修事業

主な取組として、大麻公民館のサッシ改修工事等の工事を予定している。

P243・763 協働のまちづくり支援事業

新規事業であるが、協働のまちづくり支援事業という事で、宝くじのコミュニティー助成事業を充てて実施するものである。これは主にまちづくりが視点となっており、公民館と地域団体としてまちづくり団体、自治会等が合同でこの事業に取り組んでいただく。1団体あたりが、上限40万円であり、調整を行って進めていきたい。

P245・772 土曜学習支援事業

今年度については、中央図書館、周布公民館、今福公民館の3カ所で実施を行った。生徒の登録は多いが、ネックとなっているのは部活動があるという事がある。3カ所に広げてはみたが、なかなか参加数が多くなれないという事もあり、28年度のマナビィはまだについては、元の中央図書館の1カ所に絞るが、市内の公民館で、もし地域の方で講師になれる方がおられれば、そういった方に協力を得ながら多くの公民館で開催出来る様に調整を行っていきたい。

P245・773 ふるさと郷育推進事業

今年度も実施をしており、主な内容の部分の「浜田市の人物読本 ふるさと50人」の最終校正が完了して、現在印刷に掛かるところである。これが完成すれば、3月末までに各学校に配布をする。一般の実費頒布も考えている。28年度においては、これを各学校の授業で活用をしていただくが、その時により効果が出るように、執筆者の先生方に実際に授業に入っていただき、人物の説明や、色々な話をさせていただく予

定をしている。また学校との調整を行っていく。

ふるさと再発見事業について、現在、中学校単位で中学生を対象に実施しているが、これはそのまま継続を行い、一般の成人の方も対象に地域学習を開催したいと考えている。これもそれぞれの公民館の事業で取り組んでもらう予定である。

つなぐ、つながる事業について、三世代交流と通学合宿については、それぞれ8公民館で拡充をしたいと考えている。

ふるさと教育推進事業について、これに併せ、子どもの頃に自然体験をすることが非常に少なくなっており、自然体験の事業を行ってもらいたい。これは幼稚園と小学校を対象だが、これは事業の中で実施をしてもらう。幼稚園が5万円、小学校で100人以上の大規模の学校については20万円、それ以外については15万円を委託し、自然体験事業を実施してもらう。

(仮称)浜田市ふるさと郷育推進大会の開催について、これは新規だが、これについては、2番目のふるさと再発見事業の取組の発表を公民館と中学生に行ってもらい、市民の方にそれぞれの地域資源があるという話を聞いていただくという発表会を計画している。

P254・804 スポーツ推進審議会費

28年度において、出来れば今年度末に立ち上げたいが、スポーツ推進審議会を開催したいと考えている。この審議会においては、主に東公園の今後について、大きいものでサン・ビレッジのスケート場の今後について、あるいは現在再配置計画もあるが、それぞれの自治区内に同様の施設がある為、その辺りについて今後整理をしていくという事で諮問を行いたいと考えている。年間3回の開催で、諮問、答申をいただきたいと考えている。

P255・808 全国高等学校総合体育大会運営事業

いよいよ28年度は全国高等学校総合体育大会の体操競技が開催される。こちらの方の、実行委員会の経費と実際の開催経費を掲示している。併せて、浜田市出身の体操選手である竹本正男氏を中心とした展示等を県立体育館のホールで行う。

P255・810 浜田市体育協会10周年記念事業

新規事業シートのP305に説明を載せている。体育協会が合

併をして10年となる。5年の時にも、記念事業を開催した。今回も著名なスポーツ選手の記念講演会、生涯スポーツ大会、少年野球教室等を計画している。

P257・814 運動施設改修事業

大きな改修が、東公園の運動施設の野球場外野フェンス等の改修工事が2,000万円、ふれあいジム・かなぎのバスケットゴールが老朽化をし、使用できない状況となっている為、2,015万3千円の予算である。

P258・820 浜田市室内プール改修事業

これについては、今年度と来年度かけて、2カ年度で主に屋根の改修を実施している。28年度の5月末で工事が終了する。工事費とその間の休業に対する営業補償を計上している。

P243・764 図書館管理運営費

図書館はこの管理運営費のみであり、今年度は三隅図書館の開館時間の延長に伴う人件費の増額や、5年ぶりの図書館システムの再構築という費用があった為、金額が膨らんでいたが、28年度はそういった事業は予定をしていない。多額の出費はなく、1億1千万円程度の予算枠となっている。分館を含めて、嘱託・パートの賃金と資料の購入費で全体の56%を占めている。図書の購入費は、中央図書館は8,500万円の内1,100万円である。金城、旭、弥栄も図書の購入費だけで見ると、55万円ずつとなっている。三隅も、地域振興基金での対応が今年度で完了をしている為、55万円という他の分館と同様の金額を計上していたが、利用者も多く、図書館の規模も大きいという事で、中央図書館から三隅図書館に60万円程当初予算を回している。従って、120万円程が三隅図書館の図書購入費となる。他の分館の倍位を予定している。人材の確保と、市民に役立つ選書という事が図書館に求められていく所であるため、それらに予算を執行していく事で市民の皆様役に立つ図書館という風なところを目指していきたいと考えている。

P251・792 青少年自立支援事業

拡充となっているが、事業内容については変更ないが、青少年の自立支援の居場所の関係で、人件費部分で訪問支援を行うにあたって、専門の知識を持っていることが望ましいという事で、嘱託保健師を配置したいという予算を計上してい

島田館長

長見所長

る。その他の事業については例年と変更はない。

P246・776 文化振興事業

今年度より 646 万 3 千円の減となっているが、全体的な予算の縮減という事で、教育文化振興事業団の貸付金は、文化庁補助事業の補助金の関係だが、補助金が支払われるまでの間、貸付金制度を作っていたが、これを事業団の内部資金で賄ってもらうという事で、貸付金制度を廃止し予算の縮減を図った。

P249・784 石央文化ホール改修事業

前年の 2,500 万円から増えている。計画的に、危険な所を優先的に修繕を行うという事で、28 年度と 29 年度が大きいメインの所になる。資料にあるような工事を行っていく為、金額が膨らんでいる。

P249・786 浜田開府 400 年記念プレイベント開催事業

新規事業であるが、今年度も行ったものと内容が違う。平成 31 年が開府 400 年記念という事で、今年は浜田藩の成立から自焼退城まで講演会や座談会を行った。新規事業シートの P303 に、プレイベントという事で 28 年度開催を予定している。浜田藩が自焼退城をして 150 年、松平周防守家が浜田から転封して 180 年、『花神』の著者である司馬遼太郎没後 20 年、城山にある碑があり、浜田を紹介している。4 年に 1 度松平周防守家の家臣団ゆかりの団体が埼玉県川越市にあるが、墓参される事に合わせ、講演会や学習会、また浜田城のペーパークラフトが販売されているので、それを使い理解を深めていく事を考えている。

P250・788 世界こども美術館創作活動館管理事業

P250・789 石正美術館管理事業

それぞれ約 1,000 万円増額となっている。55 億円財源計画により、5 年前から財源を捻出するために補助金を 1,000 万円ずつ減らしていた。その補てんというのが、事業団の特定財産を使って補てんしていた。それを 5 年間お願いしており、今年で終わり、以前の状態に戻っている。5、6 年前に戻ったという状況である。金額については、それを除けば変更はない。

P250・790 美術館絵画収蔵事業

1,100 万円の減である。石本先生が亡くなられた関係で、額

装をずっと依頼して作っていた。岡崎國夫画伯の額装もしていたが完了したこと等で、減となっている。今後、京都の自宅にある絵の関係により、増える可能性がある。28年度は減である。

P250・791 世界こども美術館開館 20 周年記念事業

新規事業であり、28年度で 20 周年である。それを記念して、シンポジウム、おめでとうイベントを開催する。シンポジウムは、今まで作品を出展された先生方に来ていただき、こども美術館の特徴、日本では珍しい子どもを対象とした美術館という事を、皆さんによく知っていただく講演を行う。おめでとうイベントは、今まで 20 年の間の OB、OG がおられるので、その方たちに 20 周年をお祝いしていただく。

横田次長

分室の方から、本庁分の説明で補足等説明事項があればお願いをしたい。

大崎分室長

補足事項なし。

栗栖分室長

補足事項なし。

森下分室長

補足事項なし。

吉野分室長

P229・715 教員住宅改修事業

教育総務課より説明があったが、三隅の向野田地区、三隅公民館の前に 3 棟教員住宅がある。昭和 50 年代の建築であり、過去何年間で雨漏りが生じており、28年度から 1 棟ずつ 30 年度まで改修するものである。

山本部長

② 平成 27 年度 3 月補正予算説明資料（資料 5）

主な事業として 18 ページの 178 番、旭小学校新築事業が入札減。19 ページ、189 番運動施設の改修事業が弥栄のフットサル場、サンビレッジ、野球場等の改修工事の入札減である。191 番までが教育費である。

横田次長

行事等予定表について（資料 6）

2 月 20 日から 3 月 31 日までの予定を把握しているものを掲載している。教育委員欄に○印があるものが、案内が出る予定である。3 月 5 日（土）旭小学校の竣工式を執り行う。3 月 10 日（木）教育委員と社会教育委員との意見交換会が予定されているが、時間について 14 時となっているが 14 時 30 分に訂正をお願いしたい。また、後日案内を送らせていただく。3 月 20 日（日）今市小学校閉校式、現在準備を進めており、また案内を送付する。3 月 31 日（木）教職員退職・辞職辞令交

石本教育長

付式が行われる。ここには入っていないが、3月に入ると各幼稚園・小学校・中学校の卒業式等の出席をお願いする。

3月20日(日)に第1回石本正日本画大賞展合同批評会・授賞式が入っているが、これは2月20日ではないか。今度の土曜日である。

渡邊課長

今週の土曜日である。

横田次長

2月20日が正しいという事なので訂正をお願いしたい。

吉野分室長

平成27年度 生涯学習のまち・地域づくり研修会(資料7)

2月21日(日)9時30分から三隅公民館で、三隅の生涯学習の推進本部と、三隅自治区連絡協議会の共催により、生涯学習のまち、地域づくり研修会を行う。第1部として、島根県教育魅力化特命官である岩本悠氏の「私が描く、これからの地域づくりとは」という事で講演をいただく。第2部では、地区別のワークショップを行う。テーマは、自分たちの住む地域の5年後、10年後、20年後を考えるという事で、全体コーディネーターは岩本悠さんが来られており、地区別では公民館主事をお願いをしている。現在、70名程度の参加であるが、都合がつけば参加いただきたい。午後からは、岡見地区の方で中電のふれあいホールで引き続き岩本さんの講演会を予定している。

石本教育長

資料2から資料6まで説明をしたが、資料のないところで報告事項があるところはお願いをしたい。

栗栖分室長

冒頭で教育長の話の中でもあったが、今回の断水の件について、幸い旭は断水に至らなかった。しかし、旭中学校の体育館の外の手洗い場が破損した。あのまま放置をしていたら学校給食にも影響が出ていたという状況であった。その間、旭中学校の校長先生、教頭先生、防災自治課の職員が出て、止水栓で全体を止める止水栓は見つけたが、体育館のみの止水栓を探し、なんとか見つかって体育館だけを止めることが出来たので、学校給食に影響はなかった。全体を止めると学校給食が出来なかった。すれすれの所であった。

石本教育長

図面がなくて、なかなか分からなかったのか。

栗栖分室長

実際に雪を掘って、場所を探し当てた。

石本教育長

その他、報告事項はあるか。

各課長

報告事項なし。

質疑応答

石本教育長
藤本委員

報告事項の所で質問事項があるか。

新年度の予算の説明の中で、マナビィはまだの参加率が低いという事で1会場になるという事であったが、今福会場へ私も何回か足を運んでいるが、確かに参加者が少ない。せっかく広げているのになぜかなと思っている。例えば、今福会場の管轄は金城、旭がエリアであるが、中学校の校長先生には縮小について話をされたのか。

山根課長
藤本委員
山根課長
石本教育長
山根課長

まだである。中学校の執行部会と相談をしている。

執行部会とは何か。

役員会である。

校長会の役員会である。

従って、今、今福と周布でも行っているが、その公民館で取り組んでもらえるようであれば続けていく。全ての公民館を対象に話をさせていただき、もし地域で取り組む事が可能であれば取り組む方向である。現在、土曜日ではないが、安城公民館では部活動のない月曜日の放課後に地域の方が自主的に講師をしていただき、生徒も多いという事である。理想ではそういった形が出来ればと思っている。もし土曜日の都合が悪ければ、普通の日の方が参加しやすいことであれば、そういった方向に行きたいと思っている。

藤本委員
山根課長

その場合、指導者の派遣が大きな課題になるが。

現在、登録をしていただいております、諸地域におられれば、その中で行っていただきたいが、おられないが公民館で取り組みたいという事であれば、こちらの方で先生の都合を調整しながら行っていただくという事になる。

藤本委員

色々な方に意見を伺ったが、浸透という事について、学校から文書が回ってきて、それきりになっているという事があるらしい。これは学力向上対策の一貫として取り組んでいる訳である為、なぜ参加をしないのかと聞くと、学校の方からプリントをもらって、それをしっかりと見ていないという事であり、それは家庭での事であるから関われないが。1年で今のところは元に戻るという事である為、参加者が少ないと中央図書館のみの開催になるのは仕方ないのかもしれないが、一方で寂しいので担当地域の学校長はどの様に考えておられるのかなと思った。今福会場に関して言えば、金城中学校、旭中学校の校長先生には話が行っているのかと思ったが、そういった事でもないのか。

山根課長	まだ、そこまで話が進んでいない。当然、出来れば今福の公民館で可能であれば続けてもらいたい。
藤本委員	公民館を会場とされることに関しては、そんなに大きなことではないが、指導者の確保が大きな課題である。分かりました。
石本教育長	公民館でもこの事業を取り入れてやってもらおうという事で、将来的には実施する箇所が増えているという方向にはある。28年度についても、1カ所にはなるけれども、公民館で行ってもらえるところが増えれば結果的には増えていくと思う。先ほどもあったが、指導者の派遣がどれだけ出来るかという事になるが。
金本委員	安城公民館は、月曜日は部活をしないという事で、適当であるという事だが、市内の中学校は月曜日の部活動はどうなのか。
宇津委員	月曜日が職員会議の日である為、月曜日の通常の部活動は不可能かと思う。
藤本委員	部活とマナビィはまだが重なった時、どちらが重要かという事になったとき、学力向上の方が大事であるという事で、学校の方もそれはそうであるという様な形だが、部活動があるから行かないという理由であれば良いが、それ以外の理由で行かれていないという事に私は引っ掛かる。
宇津委員	人数が少なかったかもしれないが、そこに参加した子どもたちの意見や感想は得られているのか。
山根課長	先日もアンケートを取っている。来ている生徒は、非常に良いという事で好評であるが、なかなかたくさん来てもらえない。
藤本委員	子ども達の印象は良い。はじめは中央図書館であったが、土曜日遊びに行くような気持ちで、自分が質問することなどを考えて行くという事が進歩であると思う。参加者が少ないことは私も気になっていた。
石本教育長	この事業を行う時も、行っている最中も、校長先生方の意見を聞きながら一緒に行っていると思っているので、子ども達への周知の方法を相談して、学校も積極的にしてもらおうように話をしてみたいと思う。
藤本委員	議会からは、拡大をしてはどうかという意見もあるのではないかと思います。
石本教育長	あると思う。
藤本委員	こうなると、事業説明がなければいけないが、山根課長が言われた様に公民館の方へ講師の派遣が出来るとなれば、それは1

石本教育長
各委員

つの説明がつくのかなと思う。
他に質問事項はあるか。
質問事項なし。

4 その他

(1) 閉校式について（資料8）

横田次長

今市小学校の閉校式であるが、3月20日（日）9時30分からの実施で計画をしている。閉校式のご案内をさせていただくが、出席をお願いしたい。教育委員会の方で式典を行い、その後、地元の方で閉校式典を企画している。

石本教育長

委員方に集まって行っていただくことなど、連絡をお願いしたい。実は、石本正先生を偲ぶ会の時に連絡が行っておらず、ご迷惑をお掛けした。事務局の方は、よろしくをお願いしたい。

藤本委員

礼服で出席か。

石本教育長

そうである。お願いしたい。

次回定例会日程

定例会 3月14日（月） 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂C

15:50 終了